

会 議 録【要約版】

会 議 の 名 称	第6回登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議
開 催 日 時	令和7年1月14日（火） 午前10時00分開会 午前11時40分閉会
開 催 場 所	迫公民館 大会議室
議 長（会 長）の 氏 名	公立学校法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者（委員）の 氏 名	学校法人東北工業大学 教授 大沼 正寛 公立学校法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 宮城県社会教育協会登米支部 顧問 高橋 弘一【副会長】 登米地域商工会連絡協議会 幹事 熊谷 敏明 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 穴戸 敬吾 登米市コミュニティ推進連絡協議会 理事 岩淵 浩 株式会社ミヤコーバス佐沼営業所 所長 橋 正二 一般社団法人とめ青年会議所 2024年直前理事長 杉山 孝俊 特定非営利活動法人とめタウンネット とめ女性支援センター長兼プロジェクトマネージャー 足立 千佳子 以上9名
欠席者（委員）の 氏 名	登米市産業振興会 副会長 伊藤 秀雄 一般社団法人宮城県経営者協会登米支部 副支部長 及川 勝一郎 特定非営利活動法人奏海の杜 代表理事 太齋 京子
事務局職員職氏名	【事務局】 総務部政策推進局長 小野寺 憲司 総務部政策推進室 室長補佐兼政策マネジメント係長 佐藤 浩二 総務部政策推進室 主査 星 友人 総務部政策推進室 主事 高橋 昂平 総務部政策推進室 主事 吉田 香乃 株式会社シアターワークショップ 設計統括 大野 勝 株式会社シアターワークショップ マネージャー 林 恵子 株式会社佐藤総合計画東北オフィス 代表 飯柴 耕一 株式会社佐藤総合計画東北オフィス 上席主任 高橋 英雄
議 題	【協議事項】 (1) 基本構想（最終案）について (2) 基本計画（案）について (3) その他
会 議 結 果	別紙のとおり
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	【資料1】登米市（仮称）地域交流センター整備基本構想（案） 【資料2】第5回有識者会議での主な意見への対応 【資料3】登米市（仮称）地域交流センター整備基本計画（案）

(別紙)

発言者	発言趣旨
事務局	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。 定刻となりましたので、只今より「第6回登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議」を開会いたします。 本日は、及川勝一郎委員、太齋京子委員から欠席の連絡を受けておりますので、ここでご報告いたします。 続きまして、徳永会長よりご挨拶を頂戴します。</p> <p>【 会長挨拶 】</p>
事務局	<p>ここで、本日の会議の公開・非公開についての報告ですが、本日の審議案件は、「登米市審議会等の会議の公開に関する指針第3条」の規定による非公開議案には該当しませんので、傍聴者5人程度といたしまして、公開で行うこととなります。なお、ご発言の際は、お手数ですが事務局がお渡しするマイクをご使用いただきますようご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>「有識者会議設置要綱第5条」において、会長が議長になることが定められておりますので、ここからは徳永会長が議長となり議事を進めていただきます。</p> <p>徳永会長、よろしくをお願いいたします。</p>
会 長	<p>それでは、次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>(1) 基本構想（最終案）について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(1) 基本構想（最終案）について 【 事務局説明 ※資料1、2 】</p>
会 長	<p>説明が終わりました。 内容についてお気付きの点等あれば、ご意見をいただければと思います。</p>
委 員	<p>説明いただいた中で、特に20ページから23ページは前回の会議から図を分散させつつ本文の整合性を図ったものだと理解しました。各々の図がバージョンアップしたように見えるかですが、大きくなったように見えなくもないと思います。例えば、21ページの図は、この施設という中心へ中央集権的に集まることを表す矢印が強調されていますが、前回の会議で意見があったのは地域間のつながりだと思えます。時間の無い状況ですが、微細でも修正の余地があるかお伺いします。</p>
事務局	<p>地域のつながりは矢印だけでなく、図の真ん中にある黄色で囲っている部分でも、アメーバ状に地域間をつなぐイメージとして表現をいたしました。矢印については、最小限として、今回の形で表現させていただきました。</p>
受託事業者	<p>事務局にご説明いただいたとおりですが、地域間のにぎわいがどのように波及するのかという観点から、地域間を結ぶイメージをアメーバで表現したものです。</p>

委員	<p>読者が作成者の意図を汲んで図を読み取れるかの話ですので、回答いただいた内容を表現でお示しいただければと思います。中心から外側にはみ出し、グラデーションになるようなイメージで波及効果を示しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>そのように考えています。</p>
委員	<p>私は理解しましたが、今後先程と同じ質問が出ないとは限らないと思います。それから、14～15ページの市民意見については、前回の会議で意見があった内容から良くなったと思います。各項目の並び方は、例えばハード面に対応するもの、ソフト面に対応するもの等の序列はあるのでしょうか。どういった方法で列挙したか教えてください。</p>
受託事業者	<p>「交流が生まれるためには何が必要か」の表はハード的な内容をまとめており、「交流をまちへひろげる、つながるには」の表はソフト的な内容をまとめています。各項目の並びについては、ご指摘を踏まえて順番の入れ替え等の検討を行いたいと思います。</p>
委員	<p>具体的な方法を示すことはできませんが、市民意見として自然な順番があるのか、基本構想で真ん中に据えなければならないトピックがあるのか、構造の軸になるものがあるのか、この3点は今後を見据えると大事だと思います。</p>
会長	<p>意見の並び順についてですが、まずは集まる目的があって、次に場所があって、そしてその場所へのアクセスがあるようなイメージで、各項目がつながれば良いのではないかと思いますので、ご検討いただければと思います。</p> <p>それから21ページの図について、すべてをこの図で表すことに無理があるのではないかと思います。薄い黄色のアメーバ状の部分や、それを取り囲む青い部分が何を意味するのか本文に説明が無く、作成者の思いが伝わりにくいのではないかと思います。一方で、ハブとなる今回の施設と、支所等、地域の拠点となる場所のつながりが非常に強く強調されているため、中央集権的なイメージを与えているように感じます。それによって、地域間のつながりや広がり伝わりづらい印象がありますので、文章で補足いただくか、施設と各地域拠点の関係のみを示す図とするか、どういった形であれ、意図した内容を伝えられる表現としていただきたいと思います。</p>
副会長	<p>21ページの図について、施設と地域のつながりを強調して記載されていますが、それが基本計画や工事段階、将来的に建物が使用される中で具体的にどういった形になるのか見えれば良いと思います。ハブである施設と地域の公民館や総合支所の結びつき、つながりが見えないため、図も理解しにくいと感じたのですが、この点について如何でしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいた内容を踏まえ、表現方法も含めて工夫させていただきます。特にハード面のつながりだけではなく、ソフト面でのつながりが非常に大切だと考え</p>

委員	<p>ており、基本計画ではその点について多少、整理しております。図から内容がイメージできるよう、表現方法を工夫させていただきます。</p> <p>同じく図について、私は前回も理解できないと申し上げておりました。そして今回を迎えたのですが、どこが修正されたのか分からず、前回の疑問がそのまま残っている状況です。例えば9ページには、立地適正化計画の中で都市機能誘導区域に立地を誘導すべき誘導施設の中に（仮称）地域交流センターがあって、子どもから高齢者までの生活サービスの提供や、地域住民の交流を促進する市民活動等の新たな拠点として整備を目指すと書かれていて、これが前提になると思います。</p> <p>そして、20ページの図には、この会議から入れるようお願いした分野も含め、色々な要素が波及していくと書かれていますが、前提条件にある市民活動の活性化と、直接的に観光等の産業活性化が今までの暮らしでつながらなかったのが、登米市の20年間だったのではないかと思います。それが、これからは市民活動が、産業活性化や国際交流、シビックプライドの形成等にも関わってくるのだと思います。</p> <p>そういったワクワクするものなのかどうかも含めて考えれば、従来の縦割りの考え方ではこれが馴染まないのではないかと思います。これからは色々なことを市民みんなですること、国際交流や産業活性化にもつながるといった内容が書かれていれば納得することもできますが、耳当たりの良い内容だけが書かれていると感じたので、その熱意が伝わらないことが嫌だと思っておりました。</p> <p>そういった前提がある中で、21ページの図で交流のハブと記載されているのは、佐沼のことですよね。佐沼地域の中に交流のハブがあることにすれば、市民感情としては佐沼や迫ばかりという話になる気がします。立地適正化計画の話し合いでは、佐沼だけではなく周辺の地域があつてのことだと3～4年かけて丁寧に話し合いが続けられたにも関わらず、ここで中央集権的な図とすることに不満があります。限られた紙面で表現するためにこのような書き方になったと思いますが、2次元的ではなく、俯瞰した3次元的な描き方をしていただきたいです。例えば、まず地域があつて、その上に交流のハブがあつて、そこからしずくが落ちていく書き方をしていただければ、とても分かりやすいのではないかと思います。そうすれば、交流のハブが23ページの各機能にもつながると思います。確実に3つを1つにした立体的な図は描けますし、それがあれば市民の理解が進むのではないかと期待していたのですが、全く変わっていないじゃないかと思っています。</p> <p>加えてですが、23ページの図書館機能や市民交流機能、行政・議会機能の重なりにある矢印については、無くても良いはずですが、もし入れるのであれば、2方向ではなく3方向の矢印にしなければ意味が無いのではないかと思います。すべて伝わっているか分かりませんが、どこが変わったのかさっぱり分からないことが私の意見なので、どこがどう変わったのか教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>まず、考え方としては、この施設がすべてをカバーするのではなく、施設と地域の連携によって様々な機能を地域でも展開できればという考え方になります。そのつながりが非常に重要だと考えており、基本計画の中でも、地域住民や自治会、民間企業の皆さんと一緒に、様々な事業の展開につなげられる体制を考える必要があると認識しております。特に、しずくの部分から様々な事業展開につなげられる仕組みづくりを検討してまいりたいと考えております。</p>

<p>会 長</p>	<p>また、図について様々なご意見をいただきましたので、考え方を再度、整理させていただきます。</p> <p>この図で全てを表現することが、なかなか難しいということは確かで、少しでも皆さんに内容を理解いただける形になるように修正をお願いしていますが、それにも限界があると個人的には感じています。</p> <p>いずれにせよ、基本構想の中でソフト的な部分でこういった取組をしていくのかまでは書けませんが、そこが今後において、最も大きな宿題になると思っています。建物が建てばそれで終わりではなく、建物をどのように活かして市全体を良くしていくのか、といった議論はまだ足りていないと思います。そこを今後どのような形で進めていくのかは、総合計画等も関連することだと思いますので、そちらの面からも具体的な議論を進めていくことが必要だと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>図の修正のヒントになればと思うのですが、21 ページの図は卵のように見えると思います。各地域を黄身と白身に見立てると、白身部分が隣の地域と離れていることから、つながりも離れて見えるのではないかと感じます。線をどうするか、デザインの話だと思うので、離れていると感じないよう地域の線が曖昧な方が良いと思っ ていまして、例えば点線に変更するなどの微修正ができればと思います。個人的には白身は無くとも良いと思っています。1つの地域に拠点となる公的なセクションは1つあれば良いだけで、それでどの場所かもイメージできると思います。領域を表す白身部分は、必要無いのではないかと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>色々な要望が出ておりますので、事務局でご検討いただければと思います。基本構想につきましては、大筋は基本にご了解いただいているところかと思 います。</p> <p>表現方法をより伝わる形で修正されれば望ましいということで、一度まとめさせていただきます。</p> <p>それでは次の基本計画について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>(2) 基本計画(案)について 【 事務局説明 ※資料3 】</p>
<p>会 長</p>	<p>それではご質問やご意見等をよろしくお願 いいたします。</p>
<p>委 員</p>	<p>1点だけ伺いたいのですが、須賀川市や大崎市等の様々な写真が載っていますが、こちらは事務局が視察を行って、実際に見たものになりますか。それとも受託事業者が携わったものを載せているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>数か所は実際に事務局が現地に出向いて、担当職員から話を伺うなど、参考とさせていただきます。施設もござ いますが、多くは受託事業者の方からご提供いただいたものとなります。</p>
<p>委 員</p>	<p>先日、秋田県横手市に行ってきました。図書館が去年の秋ごろに完成しましたので、視察で伺わせていただきました。その図書館の隣には、10年程前に建てた「Y</p>

	<p>2ぶらざ」という横手市交流センターがありました。そこはたくさんの方が居たのですが、特に学生たちが多く居たことに非常に驚いたというか、感動しました。</p> <p>図書館の1階にはイベントスペースがあり、丁度、絵画コンクールの表彰式をしていたり、カフェのようなスペースでは、コーヒーや軽食が食べられるようになっていました。また、基本計画にも似た記載がありますが、図書館の階段は、全て秋田杉が使われていました。そして2階と3階は図書館になっていて、そちらもとにかく賑わっていました。隣にある「Y2ぶらざ」には、地域FMや市の産業セクション、商工会議所、そしてテナントも入っていました。この2つは私が見てきた中でも、上手くいっている施設だと感じます。逆に、皆さんも視察されたかもしれませんが、紫波町の施設は個人的にあまり参考にならないと思っていました。</p> <p>私はこの事業における課題はこの先にあると思います。全国に似たような施設があったとしても、土地によって歴史や文化が違うものですから、九州など遠方の事例を挙げるよりも、東北で人口規模や経済規模が似ている自治体の施設を参考とした方が良くと思います。例えば、横手市は人口が約78,000人で登米市とあまり差がないことや、互いに合併によってできた市です。このような、登米市と似た土地の成功例や失敗例をしっかりと調査していただきたいです。</p> <p>私は横手市の図書館で驚いたことがあるのですが、10代しか入れない部屋があり、思わず写真を撮らせていただきました。横手みらい基地という名称で、10代の皆さんが交流する部屋だそうです。その隣にはバスケットボールの室内コートがあって、親子でバスケットボールの練習をしていました。それが図書館の1階にあることがすごい発想だと思いましたので、この図書館は登米市の皆さんや委員の皆さんに大変参考になるだろうと思います。</p> <p>それから、他の自治体で（仮称）地域交流センターのような建物は、人口が数万人規模の場合、駅前に建てることが多いと思います。そして、駅前にあったとしても閑散としているケースもあります。閑散としている場所は、ハードはしっかりしているのに、運用のソフトが上手くいっていないのだと思います。皆さんが心配している中心ばかりという話も、沼の上に建てるのかという話も、全国には絶対に似たような例がありますので、今後の設計や工事をしていく上で調査いただきたいと思います。建物はお金があれば良いものですが、運用は別です。その点をこの先でしっかり議論して作り上げて欲しいと願っております。</p>
事務局	<p>大変貴重なご意見をいただきありがとうございます。我々も視察先では良い点だけでなく、苦労している点やこうすれば良かったという担当者の生の声を伺っております。そういったお話は非常に重要なものだとして認識しております。先ほどのお話の中で、特に「横手みらい基地」はネーミングとしても素晴らしいものだと感じました。当市においても、学生ワークショップ等を来年以降も実施できればと考えておりましたので、若者の皆さんの意見も十分に取り入れられるよう、取り組んでまいります。</p>
委員	<p>2点申し上げます。まず7ページには、マトリックス図のような図を追加いただきました。前回私が申し上げたのは、今回は軸として並んでいる図書館・市民交流・行政を縦に並べた際に、各々の掛け合わせをマトリックス状で表現できるのではないかと考えたものでした。要するに、前回も今回も、図書館など同じ機能の掛</p>

け合わせが表現されていないという意味になります。ですので、今お話しした表現にすることも考えられると思います。それから、他の要素を並べるのであれば、体育館をどうするのが気になります。例えば、体育館の音響関係は推して知るべしな部分もありますが、施設内ホールと体育館で開催するイベントの棲み分けには広さも関係すると思います。どちらを使うのか判断するのに過不足がないように、それらの情報を拾い上げられればと思います。

重ね使いをスケッチで例示するのであれば、図のどこから引用したものか、整合性を持たせた方が読みやすくなります。皆さんが共感できるものを選んでスケッチへ起こしていると思いますので、それが上手く伝わればと思います。また、調整途中だと理解しますが、小さい字で書かれては読めない方々がいらっしゃると思いますので、字は大きくしていただきたいです。ですが、大分類と具体例で差を無くしてしまつては、例えば、サードプレイスが図書館と都市公園だけに掛かっているように見えるため、その点は気を付けていただきたいと思います。表記上のコメントになりますが、その中身が何を示すかを申し上げているつもりですので、修正について期待しています。

もう1点は前回は申し上げましたが、施設配置についてです。様々な事情から建設範囲に限られることに異存はありません。その中で、建物の顔をどちらか1つに決める必要はありませんが、事実として西側からのアクセスが圧倒的に多いことを想定して施設を認識することになると思います。それには、人が出入りする際に西風が吹き込まないのか等の課題もあると思います。私はこれを逆手に取るしかないと思っていて、西からのアクセスを仮定して、入口の奥に緑の空間が広がるような見せ方にすれば、サードプレイスの在り方を空間デザイン的に想起することができます。28ページの図で考えれば、建物の真ん中に南北軸で帯を作って、そこをメインアクセスにすれば今の話に近い形になります。ただし、重要となるのは西側がこの地方にとってどういった認識なのかです。良い点と悪い点として、例えば夕日がきれいと言うか、夕日が暑いと言うか様々な意見がありますので、その辺をデザインと上手く結びつけられればと思います。基本計画段階では概略になりますが、そういった要素もできる限り予測して考えることが、後に響くと思いますのでよろしくをお願いします。

最後に加えて、40ページのポーリング図は判別できるものに差し替えていただければと思います

受託事業者

7ページの図については、ご指摘のとおり文字サイズが小さいことから、大分類の文字をはっきり見えるよう差をつけて表現するなど、文字バランスを調整いたします。体育館を図に入れるべきかについては、悩ましい部分もありますので、事務局と相談をして追記すべきか検討いたします。同じ機能の掛け合わせについて、当初はご指摘のような形で作成いたしましたが、場所と機能の重なりや活動の重なりを表現できればと思っていたことから、今回の形に落ち着いたものです。重ね使いのスケッチは図と併せる形で、ブラッシュアップしてまいります。

モデルプランについては、公園のある東側をにぎわいや活動と結びつけるイメージとしておりましたので、西側の顔についても事務局と相談をさせていただきまします。西風への対応は、前回もご指摘をいただいております、対策案を検討いたしましたが、基本計画にそこまで具体的なものを書いて良いのか難しい点もあり、今回は外

委員	<p>したものをお示しさせていただきました。その辺りも改めて検討をさせていただきます。</p> <p>7ページの内容について理解しましたが、絵に紐付けるのであれば、※1や*1等の表記が図内の文章にされていて、それを下のスケッチでも※1、*1と表記すれば引用が目に見えると思います。</p>
会長	<p>7ページの図について、私も各機能のつながりや掛け合わせが読み取りにくいと思っていました。個々の分類としては読み取れますが、機能の掛け合わせで何をやるのかは、市民も理解できていない部分だと思います。ですので、機能と機能の掛け合わせを表の中で具体的に示すことで、ここでどういったことができるのかを明確に示すことが必要だと思います。その上で、それをどこでするのかという場所を考えるべきだと思いますので、基本計画へ掲載するかは別として、作業用に機能と機能の掛け合わせをマトリックス図等を用いて整理する必要があると思います。</p> <p>図書館と図書館の掛け合わせが表現されていないと指摘があったとおり、図書館の中にも様々な機能があるので、図書館の中だけでも今までに無い使い方がされると思います。そういった意味で、今後、新たに何ができるのか、それにより何が活性化されるのかを考えなければなりません。それを考えていく上で、そのベースとなるマトリックス図はとても重要になりますので、作業用として作ってはいかがでしょうか。</p>
副会長	<p>同じく7ページの図について感じたことですが、特に、図書館と公民館の社会教育施設は様々な機能がある中で、今後は「つなぐ」という機能が重要になると思います。図書館の中でも様々な目的があって、それに応じた機能を発揮することが必要となりますし、それは公民館も同様に考えられます。そして、それらの機能の中に「つなぐ」があります。個人的には、図の中にそのまま「つなぐ」と表現することは相応しくないと思います。例えば、図書館はもともと静かな環境で本を読むイメージがありますので、それに「つなぐ」を結びつけるには、図書館でボランティア育成や図書館における学習会等の企画が無ければ、静かな建物でしかありません。</p> <p>ですから、その「つなぐ」機能を明確に示さなければならないと思います。逆に、公民館は人が集まる場所ですので、それをいかに他へ捌くかです。目的を持って学習会や集会など様々な企画を実施し、それをどのようにつなげて、結びつけられるのか、方向付けをしなければならないと思います。</p> <p>それから、同じ図の分類にある「学ぶ」に関して、行政・議会機能に子ども議会しか記載されていませんが、行政ではたくさん学習機会を提供しています。保健に関するもの、税に関するもの、水道に関するもの、環境に関するものなど、行政が提供する様々な学習機会は、この施設になれば今まで以上に実施されるのではないかと感じました。</p> <p>最後に29ページの建物構成について、1階は図書館で2階に公民館を配置しています。実際の利用者数で考えれば、1階に配置するのは図書館と公民館のどちらが良いのか、数多くの高齢者が利用するのはどちらなのか等を考慮して、検討する必要があると思います。</p>

受託事業者	<p>「つなぐ」という機能と、行政・議会機能の「学ぶ」という点については、掘り下げて追記をいたします。</p> <p>図書館と公民館の配置については、規模によって考え方が変わりますが、一般的に図書館は、サードプレイスとして今後利用されていくと全国的に考えられています。図書館は、老若男女が誰でも予約せずに訪れることができる、誰にとっても開かれた施設ですので、最も人を受け入れる素養が強いと捉えております。公民館も同様に様々な方に使われる施設ですが、今回は図書館の方がより施設の目的に近い部分があると考えられましたので、今回の配置とさせていただきます。</p>
副会長	<p>私がいつも行っている図書館と公民館をイメージすれば、首をひねらざるをえないので、地域の実情を考慮して事務局の方々とご相談いただければ幸いです。</p>
会 長	<p>図書館を単独で建てるのであれば、サードプレイスという位置付けになりますが、今回はサードプレイスを図書館に限る必要は無いので、市民交流機能に持たせる考え方もできると思います。本来は各々の施設にある機能が、合築という形で整理されることで、より使い勝手の良いものとなるイメージです。例えば、高齢者利用の多い機能はフラットな配置にする等の配慮も含めて、どのような配置が良いか、従来の枠を取っ払った上で考える必要があると思います。そうしなければ従来の合築のような、施設内で機能がスペースを取り合う印象となりますので、改めてご検討いただければ幸いです。</p>
委 員	<p>私がお聞きしたいのは55ページについてで、中心市街地活性化に関する検討として、民との連携や人材の確保、育成の強化といった内容が書かれています。とても重要なことだと思いますが、書いてある内容の具体的な姿がよく分かりませんでしたので、この点についてお伺いします。</p>
事務局	<p>今回の事業の中でも施設の維持管理は非常に重要な部分ですので、ハード整備と併せて考えなければならないと認識しております。それに併せて、施設がどうなれば中心市街地活性化のきっかけとなるのかも検討する必要があることから、管理運営と中心市街地活性化に係る施策の中でつながりを作れないかと考えていました。この施設をどうすれば皆様に活用いただけるのか、市民の皆様と一緒に検討していく必要があります。そこから、市民の皆さんはもちろん、民間企業の皆さんにもご参画をいただいた会議体等の実施について今後検討できればと考えております。</p> <p>そういった会議で施設をどのように活用できるかを話し合っていく中で、人材や施設の担い手の育成にもつながる可能性があることから、プラットホーム的な組織の構築をイメージしておりました。</p>
委 員	<p>要するに、ただの箱物にならないように、継続的に活用できる施設にするために色々な人が集まってアイデアを出していきましょうという話ですね。それは、施設を交流の場にしていくかを考えるためには重要なことだと思います。しかし、市内に限らずだと思いますが、色々な団体やイベント、伝統芸能をされている方々がコロナ禍を経てノウハウが無くなっていたり、高齢化や財政的な問題など、色々な</p>

	<p>理由によって活動を続けることが難しくなっている事実があります。それぞれの団体が努力するべき部分もありますが、そういった地域の団体が少なくなれば将来的に影響が出ることとなります。例えば、お祭りが無くなった地域に子どもが残りたと思うのでしょうか、大学へ進学するタイミングで地域から出る子どもが多いことが実情です。シビックプライドの話もありましたが、登米市に戻ってきて登米市を盛り上げたいと思ってもらうには、人材育成以外にはどうすれば良いのでしょうか。基本計画に書かれているのは理想だけで、実際に動き出した際に効果的に回せるかを考えれば、実施しただけで終わるような印象があります。財政的に難しいと思いますが、市が団体をサポートして、最終的にはそれぞれが自立できるような仕組みをイメージしていました。</p> <p>具体的な案は出せませんが、子どもたちにとって楽しい思い出を作れるまちであって欲しいと思っているので、そういった視点も持っていただければと思いますし、それが将来的な市の財政にもつながると思います。色々な部分で補助金が少なくなっていたり、この事業だけに関わる話ではないので、本筋からは逸れた部分もあったかもしれませんが、総合的に（仮称）地域交流センターがきっかけとなれば、登米市は素晴らしい市になると思いましたので、意見として申し上げます。</p>
会 長	<p>この基本計画以降も中心市街地の活性化については、しっかりと議論しなければならないものだと思いますので、ご意見を参考に今後の取組に生かしていただければと思います。</p>
委 員	<p>素晴らしい意見の後に重箱の隅をつつくようなもので大変恐縮ですが、やはり分かりづらいです。特に、施設の構成機能と場所がごちゃごちゃに記載されていることが誤解を招いているのではないかと思います。29ページは建物構成の基本的な考え方が記載されていて、ここで初めて公民館について記載されています。公民館機能とは現在の迫公民館と考えてよろしいのか、前回から質問をしておりました。基本計画では、公民館機能が全体的な交流を司ると記載されていますが、これは迫公民館ではなく中央公民館的な考え方になるのではないかと前々から伺っておりました。今回も迫公民館が中央公民館を担うように感じることに、機能と場所の記載内容について確認をさせていただきたいです。</p> <p>そして、他に気になっているのはサードプレイスについてです。図書館に人が集まるイメージはありますが、迫公民館は地元の方を始めとして多くの利用者がいらっしやる状況で、そんな迫公民館を2階に配置して本当に良いのかというのが正直な感想です。建物構成から考えれば、7ページでは市民交流機能の中に公民館機能と保健センター機能が入っているので、こちらも機能と場所がごちゃごちゃになっています。この点は思うところがあるので何度も申し上げます。迫公民館は今でも利用者が多く、迫公民館だけで捌ききれない現状があるので、この施設ができて部屋が増えれば、たくさんの方が来てくださることが想像できます。それを公民館の部分ではなく、交流機能の部分に流すイメージだと、見てすぐに分かれば良いと思います。</p>
事務局	<p>まず5ページの施設の概念図に表しているとおおり、市民交流機能の中に公民館機能と保健センター機能があることを注釈として記載いたしました。現在の迫地域の</p>

委員	<p>公民館機能を維持しながらも、市全域に開かれた市民の誰もが利用できる施設になることを目指す考えを持って、今回の施設整備を進めています。それを前提として、11 ページには市民交流機能は面積が合計で約5,600㎡と記載しており、その中で公民館機能は約520㎡と示しています。今の施設規模より小さいのですが、公民館機能と市民交流機能が連携することで、これまで以上の効果を発揮する考えを表現いたしました。あくまでも迫地域の公民館としての機能を発揮できるとともに、市全域に対する機能も含んでいくものであると整理をしておりましたので、表現方法をもう少し工夫させていただきます。</p> <p>今の回答に関してですが、迫公民館で登米市全体のことまで担当するのは難しいです。今のスタッフで回すのは困難ですので、別の問題だと思っています。</p> <p>公民館の面積については、現在の迫公民館の和室や調理室等を合わせると約520㎡で、すべての部屋の面積を合わせれば900㎡程になります。それを貸し出していて、混む時期は部屋が足りないために他の施設を紹介しているほどです。コンパクトに作っていただくのは結構ですが、どこまで会議室等の部屋を作ってもらえるものか不安に思っております。指定管理を受けている我々からすれば、ある部屋を使うしかないのですが、面積をどこまで大きくしていただけるかは別の問題だと思います。これまで多い年は約6万人が利用していて、今年は利用料金の変更があったので利用者数がどこまで変化するか分かりませんが、その辺も含めて検討していただきたいです。</p>
事務局	<p>11 ページの表では約520㎡と表していますが、公民館としての機能をこの面積だけで担うではなく、市民交流機能も含めた中で担っていただく形をイメージしております。現在の迫公民館の規模は900㎡とご指摘いただきましたが、(仮称)地域交流センターでは市民交流機能として約5,600㎡という非常に大きな面積を取っておりますので、これまで以上の効果を発揮できるような施設のつくりを今後検討していくものです。この考えの表現方法については、整理をさせていただきます。</p> <p>また、市全域に対する事業を現在の指定管理者にお願いする考えはございませんので、運営の在り方は今後も十分に協議を行いつつ、検討していくべきものだと捉えております。</p>
会長	<p>私も以前に同じような発言をしていて、例えば11 ページ以降に記載されている機能ごとの面積は固定されているため、各機能に割り当てられているような印象を受けます。今回は共有が特徴であるのに、それが全く見えない形になっていました。同じように29 ページにはセキュリティが示されていますが、図書館が閉じこもっている印象があると感じます。確かに、図書館は蔵書を管理する必要があるため区画せざるを得ませんが、それ以外の機能はセキュリティを緩めても良い場所があるように思います。せっかく共有として有効活用することや、連携によって色々なことをすると謳っているのに、分断された区画をそれぞれが使うように見えるので、表現方法はご検討いただければと思います。</p> <p>逆に言えば、市民交流機能を誰が管理や運営をするのか全く読み取れないので、今後検討するものかもしれませんが、一定の見通しを立てて、こういった建物構成にするのか、管理を容易にするにはどうすれば良いかを考える必要があると思います。</p>

委員	<p>す。その辺りもしっかりと検討を進めていただきたいと思います。</p> <p>皆さんおっしゃった内容を整理するには、以前申し上げたように5ページのベン図が重要になると思います。この3つの円を重ねれば、グラデーションで混ざった部分も含めて7つの領域ができます。それを施設に落とし込んだ際に、最終的にすべて色が存在するのか分かりませんが、概念としては7つの領域があることとなります。さらに掘り下げれば、市民交流機能の中に公民館機能と保健センター機能が入っているので、市民交流機能の中に専用の機能が求められる部分もあることとなります。行政と議会機能についても、市民交流機能と同様に厳密には整理しなければならない部分があると思います。そうやって考えれば、実際には10の領域が出来るものだと思います。概念としては、中央に向かって太くなることで、色々なものが交じり合う領域の話になりますが、面積としては細長い領域に建設するので工夫をしなければ入れ込むことはできません。そして、それは丸いものを長細いお皿に並べるようなイメージになるはずですが、その並び方は、必ず隣り合わせなければならないものもあると思いますし、それを立体的に表現することもできるかもしれませんが、まずは、それらのイメージを組み上げることが必要です。設計の話になると回答されるかもしれませんが、少しは基本計画でも見通す必要があると思うので、それらをマトリックス図等で整理し、議論を重ねていくことが重要だと思います。その際に、11ページ以降には機能毎の面積が市民交流機能から列記されています。単純に考えればこの図式で良いのかもしれませんが、機能ごとに専有するものと共有するものが見て分かる形で提示いただきたいと思います。そして、共有部分については、ベン図では黄色で表れている、市民交流機能と交わった領域として表すことができれば、ベン図と実際の面積のつじつまが合うこととなります。</p> <p>そして、交流空間の所掌範囲については、そこが曖昧なままでは何もかもが曖昧になるので、決めなければならない部分になります。その点をぜひ意識して欲しいと思います。私は委員の皆さんの発言を聞いていて、プリンターのインクタンクが思い浮かびました。印刷する際にはインクは混ざって出力されますが、基本的にインクはそれぞれのタンクに入れれば良いものです。例えば何でも良いのですが、エリアを構造化して考えなければ、曖昧なまま進んでしまうと思います。</p>
会長	<p>今の内容が肝になると思いますので、ご検討をお願いできればと思います。</p> <p>開会の挨拶では今回が最後になるのではないかと話をしましたが、今後も心配に思う点があります。今後どのように進めるのかまだ分かりませんが、本日の意見をしっかりと汲み取って、今年度中に基本構想と基本計画はまとめていただければと思います。</p> <p>そして、基本構想と基本計画が完成したとしても、どのような建物にするか、どのように活用するか議論が必要になります。市民の皆さんとしっかり議論しながら進めなければならないものだと思いますので、次年度以降の体制も含めてご検討をいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>基本計画を整理していく上で、パブリックコメントを1月31日から約1か月間実施し、市民の皆様からご意見を募集する予定です。それらを踏まえ、庁内と議会からご意見をいただき、基本計画（最終案）を3月に開催予定の有識者会議にてお示</p>

<p>会 長</p>	<p>しさせていただきます方向で考えております。パブリックコメントの開始までに、本日はいただいたご意見を整理し、市民の皆さんにお見せできる内容に仕上げる予定としております。</p> <p>3月の会議で出た意見をどこまで反映いただけるか分かりませんが、まだこのような機会がありますし、委員の皆さんからパブリックコメント期間中に意見をいただくことも構わないと思いますので、皆さんのお知恵をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以上で本日の議題は終了とさせていただきます。事務局へ司会をお戻します。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>徳永会長、議事の進行ありがとうございました。</p> <p>次にその他ですが、事務局から連絡がございます。本日の会議に際して冒頭に申し上げたとおり、資料の事前配布ができず申し訳ございませんでした。内容を確認した上でご意見等がありましたら、後日メール等でも構いませんので、事務局へご連絡をいただければ幸いです。</p> <p>事務局からは以上となりますが、委員の皆様からございますか。</p> <p>【 委員からイベントに関する情報提供 】</p>
<p>事務局</p>	<p>その他に委員の皆様からございますか。</p> <p>特に無いようであれば、閉会にあたりまして高橋副会長から閉会の挨拶をちょうだいいたします。</p> <p>【 副会長挨拶 】</p>
<p>事務局</p>	<p>高橋副会長ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第6回登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議を閉会いたします。次回の会議でございますが、3月中旬頃の開催を予定しております。年度末で大変お忙しい時期かと思いますが、日程が決まり次第ご連絡をさせていただきますので、何卒よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は大変お疲れ様でございました。</p> <p style="text-align: right;">午前11時40分 閉会</p>